

活動報告書 自学自炊コミュニティ nalba (2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 活動実績

日本財団からの支援を受け、子ども第三の居場所(コミュニティモデル)としての放課後活動(月水金)を中心に、i第三土曜日の子どもクッキング11回、農業体験4回、宿泊体験4回、ナルバ祭りなどの地域交流事業6回、外部連携イベント10回を開催し、子どものチャレンジプロジェクト5案件に伴走。地域のフェスへも2回参加して広報活動したほか、親子遠足を4回行った。

	放課後活動			第3土曜 子どもクッキング 他			農業体験・特別活動			その他イベント	
2024 年	内容	定期 生参加 数	一般 参加 数	内容	定期 生参加 数	一般 参加 数	内容	定期 生参加 数	一般 参加 数	外部連携・チャレンジプロジェクト	
4月	月水金15:00～20:00	34	2	世界の料理巡り アメリカ	13	14	20日/田んぼワークショップ(粃種撒きと川遊び)	8	7	14日/アナログカードゲームまつり	
5月	月水金15:00～20:00	34	3	イタリア料理	12	14	25日/田んぼワークショップ(田植え)	12	6	—	
6月	月水金15:00～20:00	36	1	韓国料理	14	19	21日/宿泊＆銭湯体験	11	0	2日/子どもの見ている世界 ワークショップ	
							29日/田の草取り＆生き物観察	10	6		
7月	月水金15:00～20:00 夏休み期間は 10:00～15:00	38	0	インド/カレーと ポーセラーツ	12	21	5日/宿泊＆銭湯体験	12	0	7日/子ども料理クラブ＆た なばた音楽祭(ナルバ祭 り)(50人参加)	
							24・25日/京北自然体験	24	2		
8月		36	4	マイクラカップ 強化日(3回)	10	1	19～23日/韓国・釜山への船旅	10	8	マイクラカップ応募	
9月	月水金15:00～20:00	37	3	日本料理	8	12	16日/ナルバ祭り活動報告会	18	22	5日/デジタル時代の子とも と読書 講演会＆交流会	
							22日/田んぼワーク(稲刈り)	11	6		
10月	月水金15:00～20:00	38	1	タイ料理	13	12	20日/動物園遠足	11	10	19日/未来創造ユース チーム活動 23日/椅子修理ワークショップ	
							26日/動物園遠足	19	16		
11月	月水金15:00～20:00	38	1	ドイツ料理	13	6	4日/永源寺バス遠足	17	34	3日/ハロウィンパーティー 16日/未来創造ユース 22日/金融教育	
							24日/京の子ども居場所フェス	7	5		
							30日/梅小路公園フェス＆遠足	18	35		
12月	月水金15:00～20:00	38	0	スペイン料理	11	14	25日/人形劇鑑賞と大宮交通 公園お出かけ	22	0	21日/未来創造ユース	
2025年											
1月	月水金15:00～20:00	39	4	メキシコ料理	10	16	6日/お餅つき	32	4	25日/未来創造ユース	
2月	月水金15:00～20:00	40	2	フランス料理	13	19	21日/カホンコンサート	17	20	15日/未来創造ユース 24日/子ども料理試作会	
3月	月水金15:00～20:00	40	2	中国料理	11	18	23日/映画上映とお話会	5	10	1日/スキープロジェクト 15日/未来創造ユース	
							24・26・28日/ナルバ祭り	41	38		

2. 活動の成果

①子どもの参加人数 新1年生11人、年長2人、高学年3人が新たに加わり、月水金の活動日には13～18人が定期参加。月に1回以上参加する登録児童として、47名がナルバの一員として活動した。

②食と農をベースにした活動 「世界のおいしいもの巡り」をテーマに子どもクッキングを開催したほか、田んぼワークショップには親子参加を推奨して賑やかな農作業を楽しんだ。毎年10キロ以上収穫できていた区画で今年は5キロの収穫となり、天候や獣害による大変さを体験。できるだけ生産者のわかるオーガニック食材を調理して子どもたちの心身の健康づくりをした。

③宿泊体験 2班に分かれてのお泊り会で銭湯でのマナーと自己管理の訓練をし、京北町での自然体験合宿、韓国釜山への船旅に挑戦。子どもたちは著しく成長した。

④地域交流 ナルバ祭りや、「地域づくりと地域通貨」をテーマにした映画の上映会&懇談会などを開催し、子どもたちが地域の人をもてなしてnalbaの活動を紹介した。

⑤外部連携 左京社会福祉協議会にも支えられ、様々な支援を頂いた。京の子どもの居場所フェスへの出展の他、他の団体との共催イベントや、企業・教育機関から提供されたイベントや勉強会も実施した。

⑥プロジェクト活動 子ども主導のイベント開催(2回)や料理チャレンジ(2回)、日帰りスキーへのチャレンジなどに伴走。

⑦スタッフ 引きこもりからナルバに挑戦したインターン生が、公立の学童保育所に就職し、高校生ボランティアがAO入試で志望大学へ入学するなど、ナルバでの活動を通してスタッフも素晴らしい成長を見せてくれた。

### 3. 情報発信や情報共有について

外部への情報発信は、インスタ、Facebook、公式Line、チラシ等で行い、スタッフと利用者の情報共有はグループLineや、Lineアルバム、Googleフォトを利用した。(https://linktr.ee/nalba.school)

### 4. 活動記録写真&動画

前期のナルバ活動報告 <https://www.youtube.com/watch?v=DnKwPcKUzI4>

ナルバFBでの活動報告 <https://www.facebook.com/nalba.school>

### 5. 自学自炊コミュニティnalbaで大切にしていること



2024 年春

し が く し す い ナ ル バ  
自学自炊コミュニティnalba で  
たいせつ  
大切にしていること

1. やってみるにと たいせつ ころろ ごかん たいせつ  
実体験を大切に、心とカラダと五感を大切にそだてること  
×五感＝視覚（見る）、聴覚（聴く）、味覚（味わう）、嗅覚（嗅ぐ）、触覚（皮膚で感じる）
2. じぶん ナルバ なかま たいせつ  
自分も nalbaにいる仲間も 大切にできること
3. じぶん もの もの ナルバ もの たいせつ  
自分の持ち物も nalbaにある物も 大切にできること
4. た もの たいせつ て けい い  
食べ物大切に、づくり手と、いのちに敬意をもつこと  
×敬意＝ありえないような、ありがたいことに 気づくこと。
5. だれもが たいせつ あんしん じぶん  
だれもが大切にされ、安心して自分らしくいられること

☆☆☆ ナルバ たいせつ  
nalbaで大切にしていることを、あなたも大切にしてください ☆☆☆

# 「仕事」のできる人になろう！

～手をつかう仕事いろいろ～

りょうり  
料理

しょっき あら  
食器のよごれ洗い

食器のせんざい洗い

食器のすすぎ洗いとよごれチェック

キッチンせいび(水回りの台や床ふき)

つくえといすかたづけ

ほうき、掃除機

床のぞうきんがけ

どうぐだなせいり  
道具棚整理

シンクみが  
磨き

入り口の洗面台みが  
磨き

入り口の掃除、靴箱ふき

まど  
窓ふき

ほんだな せいり  
本棚の整理

キッチン  
の床ふき

トイレせいび(スリッパせいとん、洗面台、床のよごれふき)

掃除機メンテナンス(ごみ捨て、フィルター掃除)

空調機メンテナンス、業務用キッチンのシンクやガスオープン磨き、排水溝掃除、

グリストラップ掃除、ゴミすて

～心をつかう仕事いろいろ～

・人も物も大切に、そおっと優しく

あつかう

・宿題をしている人を応援する

・困っている人を助ける

・人のはなしをきちんと聞く

・ていねいに「お願いします」と「あ

りがとう」など、人が嬉しくなる言葉

を使う

・  
・

～頭をつかう仕事いろいろ～

・困りごとを解決する話しあい

・みんなが楽しめることを企画

・みんなの力をひきだす工夫

・  
・

## 子どものセーフガーディング

### 子どもたちに関わる大人が 守るべきこと大切なこと

(スタッフ・見学者・保護者などすべての大人に向けて)

- ① 子どもたちの「より良く生きる力」を信じ、一人の人間として敬意をもって接する。
- ② 大人も子どもと共に成長していくべき、発展途上人であることを自覚し、自分の思い込みによる価値観を押し付けない。
- ③ 権威勾配(大人の方が圧倒的に強い立場で子どもには脅威になっていること)を自覚して、子どもの価値観も尊重する。
- ④ 子どもの意見を尊重し、子どもが意見表明できる信頼関係を築く。
- ⑤ 子どもが「自分でできる力」を奪わず、失敗することも大切な経験として見守り応援する。
- ⑥ 呼んでほしい名前で呼んでいるか確認する。(さんづけ、くんづけ、呼び捨て、ニックネームなど、本当に呼ばれたい呼称かどうか)
- ⑦ 子どもが子どもたちの中で育つことを大事にし、LINEなども含め、大人が子どもと1対1の親密な関係にならない。(依存と支配の関係をつくらない)
- ⑧ 「握手してもよい？」と聞いてから手を握る、というぐらいに相手を大切に取り扱い、安易な身体接触は避ける。
- ⑨ 視覚に入らないところや閉鎖空間で子どもと1対1ですごさない。
- ⑩ 子どもの安全を守ること、最善の利益を守ることが第一に置いて、大人の在り方を考える。  
(言葉遣いや服装、態度も含め、子どもから信頼される人となる)